

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
株式会社 ジェイ・エム・エス 三次工場
- (2) 事業所の所在地
広島県三次市四拾貫町山家350
- (3) 業種
医療用機械器具製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、平成23(2011)年度から平成27(2015)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産金額 (百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成22年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO ₂	2.41	2.36 -2.0	2.26 6.2	2.19 9.3	2.22 7.88	2.07 14.1	2.15 10.7
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン	0.000687	0.000672 -2.0	0.000698 -1.6	0.000688 -0.2	0.00075 9.17	0.000714 -3.93	0.000743 -8.15
一酸化二窒素	0.00727	0.00711 -2.0	0.00736 -1.2	0.00814 -11.9	0.00875 20.36	0.00821 -12.9	0.007855 -8.0
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	2.42	2.37 -2.1	2.27 6.3	2.19 9.3	2.23 7.8	2.08 14.0	2.16 10.7
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	0.9541	0.8688 -8.9	0.8933 6.3	0.8659 9.2	0.8817 7.6	0.8205 14.0	0.8511 10.7
実績に対する 自己評価	平成26年度においてエネルギー起源CO ₂ は、10%削減。 その他については削減傾向にありますが、今後更なる対策が必要である。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	・ 電気の使用量を17%削減 (平成17年度比)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空冷ヒートポンプチラーの運転管理強化 ・ 射出成形機を省エネ型へ更新 ・ エアコンプレッサーの停止制御 ・ 高効率照明器具、LEDへの更新 ・ 避難口誘導灯をLEDへ更新 ・ エアブロー削減
2	燃料使用量の削減	・ A重油の使用量を43%削減 (平成22年度比)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空冷ヒートポンプチラーの運転管理強化 ・ 生産工程改善による蒸気使用設備の廃止 ・ 放熱対策の強化 ・ スチームトラップの点検
3	廃棄物の削減	廃棄物を2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルの強化 ・ 有価物への転換
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。